



NPO高知県
日中友好新聞

2024年1月8日

No.83号

発行責任者 岡林俊司
編集人 坂本茂雄

NPO 法人高知県日中友好協会

〒780-0870 高知市本町4丁目

1-37丸ノ内ビル1F8号

TEL: 088-825-0011 / FAX: 088-825-0513

nichu-kochi@movie.ocn.ne.jp

<http://kochi-nichu.com>

2024 新年好！

会員拡大と組織の活性化、日中友好を深める年に



新年あけましておめでとうございます。本年もご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。また、元日に発生した“能登半島地震“で多くの皆さんが被災されました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに1日も早い復興を願うものです。

さて、4年間続いたコロナ禍も収束の兆しが見えてきました。昨年は十分な活動が出来ませんでしたので今年は何とかコロナ禍以前の活動ができるよう頑張っていきたいと思ひます。

日本と中国の関係は一昨年「日中国交正常化50周年」、昨年「日中平和友好条約締結45周年」を契機に関係改善が図られていますが“台湾問題”をめぐる“米中関係”や“日中における懸案課題”への対応など政治レベルで解決すべき問題も生じています。

日中友好協会の基本理念は“民でもって官を促す”です。民間交流の積み上げで“日中友好”を促進したいと思ひます。

これまで私たちは安徽省、蕪湖市だけでなく上海、大連の中日友好協会・各団体などとの交流を深めてきました。これからも組織だけでなく個々の中国の皆さんとも交流を深めていきたいと思ひています。本年は「高知県と安徽省の友好交流」30周年の節目の年であり、交流促進を期待しています。

さて、恒例の「春節を祝う会」はコロナ禍のため2020年2月の第29回以来開催できませんでしたが、今年は2月17日に4年ぶりに開催いたします。御多忙とは存じますがご出席の程よろしくお願ひ致します。

また、定期総会も同日開催します。会員拡大、組織の活性化、財政確立などの課題が山積しており、会員の皆さんの英知を結集して課題解決に向かっていきたいと思ひます。

結びに、皆様のご多幸と日中友好が促進されることを祈念して新春挨拶と致します。

2024年1月8日

NPO 高知県日中友好協会会長

岡林俊司

「第30回春節を祝う会」



- ・日時 2024年2月17日(土) 18:00(受付17:30~)
- ・場所 高知会館2F「白鳳」(高知市本町5丁目6-42 Tel.088-823-7123)
- ・参加費 8,000円(留学生の費用を含んでいます)

※留学生も含め、いろんな余興や二胡演奏、牛子華先生の書、景品も用意してお待ちしています！

※留学生(高知大学、高知工科大学、県立大学、明德義塾高校、龍馬学園国際ビューティカレッジなど)をご招待しています。

高知県日中友好中国帰国者の会研修旅行(12/13・14)

足立美術館・鳥取砂丘を見学

昨年の12月13日(水)・14日(木)に高知県日中友好中国帰国者の会(略:帰国者の会)が研修旅行(バス旅行)を実施し、島根県の足立美術館、鳥取県の鳥取砂丘などを見学しました。この研修旅行は毎年実施されていましたがコロナ禍のため3年間中断し、昨年12月に復活したものです。参加者は39名で県日中からは岡林会長と竹内常任理事が参加しました。

初日は横浜団地、北竹島町を經由して7時50分にNTT東局前を出発し、豊浜SA、高梁SAで休憩し蒜山高原センターで昼食。午後からは足立美術館を訪ね、21年連続日本一位の日本庭園と横山大観の絵画を鑑賞しました。紅葉の時期は終わっていましたが日本庭園は落ち葉一つなく周囲の山を借景にした美しさは格別でした。その後、鳥取県の東郷湖畔にある“はわい温泉”の「望湖楼」に到着。湖上の露天風呂に浸かった後、6時からの夕食懇親会では皆さんの踊りやカラオケで楽しいひと時を過ごしました。

2日目は朝食の後、午前9時にホテルを出発し近くの燕趙園で中国庭園の散策と中国雑技団ショーを鑑賞しました。その後、鳥取港海鮮市場「かろいち」での買い物。日本海の魚や名物の松葉ガニを購入する人もいま



ました。昼食は鳥取砂丘を見下ろす「砂丘会館」で食事後、皆さんは鳥取砂丘を散策し“元気な人たち”は砂丘を下り上りしていました。力余って倒れこむ人もいて笑いを誘っていました。その後「砂の美術館」を見学し、開催している「エジプト展」の展示物(作品)に圧倒されました。そして勝央SA、鴻ノ池SA、立川PAで休憩を取りながら午後7時50分にNTT東局前に帰着し、研修旅行を終えました。今回は天候に恵まれ(3日後から山陰地方は大雪に)コロナ禍のうっ憤を晴らすような元気な帰国者の皆さんを見て“元気をもらった”楽しい研修旅行となりました。(岡林記)

2024年度定期総会を2月17日に開催します。御出席よろしく!

- ・日時 2024年2月17日(土) 14:00~16:00
- ・場所 県民文化ホール4階会議室(7・8会議室)
高知市本町4丁目3-30 TEL088-824-5321

※総会の7日前までに「総会議案書」「出欠表」を送りますので返信をお願いします。

※理事・監事の皆さんは議案審議の理事会を1月27日(土)13:30~、はりまや町ウォーターベースで開催しますので出席願います。

※総会后「第30回春節を祝う会」を開催(高知会館)しますので引き続きご参加願います。

「国際ふれあい広場 2023 (10/19)」に出店

二胡演奏、歌と踊り、餃子の販売！中国茶は仕入れ間に合わず



「国際ふれあい広場 2023」が 10 月 19 日（日）、ひろめ市場と大橋通り商店街）で開催され当協会と高知県日中友好中国帰国者の会（略：帰国者の会）が出店し日中友好についてアピールしました。

この催しは（公財）高知県国際交流協会が主催し、国際協力機構 JICA 四国センター・高知県・オーテピア高知図書館が共催して例年開催されていますが、コロナ禍のため 2020・2021 年は開催できず 2022 年から再開となったもの。

今回は“高知の多文化共生をひろげよう！”をスローガンに当協会や学校法人竜馬学園、高知県フラ協会、在高知インドネシア人会、オイスカ高知県推進協議会、高知 SGG 善意通訳クラブ、よさこい国際協力隊など 24 団体が参加しました。

10 時からの開会式の後、最初に帰国者の会からの二胡演奏があり趙景明さんと 5 人のお弟子さんが美しい音色を奏でました。そのあと帰国者の皆さんが歌と踊りを披露しました。

また、帰国者の会はコロナ禍のため昨年できなかった手作り餃子 1500 個（1 箱 10 個入を 150 箱）を販売し、完売しました。当協会は昨年好評であった「中国茶」の販売を予定していましたが、中国業者との連携ミスで製品の入荷が間に合わず、販売できず「日中友好の写真」の展示のみに終わりました。

催し全体は、インドネシアの伝統舞踊、フラダンス、国際交流員の“日本に来てこんなことに驚いた！”トークショー、ワークショップ、物販、など色々あり国際交流・多文化共生の 1 日となりました。



安徽省黄山市歙県行政視察団が来高（9/11・12）

高知県農業技術センター、県立歴史民俗資料館を視察

日本の農業や文化財保護の状況を視察するため9月11・12日に安徽省黄山市歙（しょう）県の王奇勇県長を代表とする訪問団8名が来高しました。

一行は11日の夕方に高知に着き、その晩はひろめ市場で当協会役員4名と夕食懇談し、かつおタタキ・マグロ刺身を食しながら交流しました。皆さんは2024年の安徽省と高知県の友好交流30周年にはぜひ“黄山”にも登ってほしいと言われていました。

翌日は午前中に南国市廿枝にある高知県農業技術センター（高橋昭彦所長）を視察し、職員の方々から高知の農業、とくにハウス園芸の現状について説明を受け、皆さんは熱心に質問をしていました。また、圃場（ほじょう）のハウス見学も行いました。この視察には岡林会長と植野副会長が同行しました。その後、昼食懇談会を県・安徽省友好交流委員会・当協会（5名参加）の三者で行うとともに、高知城を見学したあと、岡豊に

ある県立歴史民俗資料館（竹崎恵彦館長）を訪問しました。館長からの説明と館内の見学と外の建物も見学しました。

一行は最終便で東京に向かい神奈川県、千葉県を視察して14日に帰国するとのことでした。

訪問者名簿（★は女性）		
団長	王奇勇（おうきゆう）	歙県人民政府 県長
団員	呉堅（ごけん）	歙県外事弁公室 主任
	汪璟峰（おうけいほう）	歙県科技商務経済情報化局 局長
	呉開秋（ごかいしゅう）	歙県農業、農村局 局長
	潘偉（ばんい）	歙州農文旅集団 理事長
	呉光玉（ごこうぎょく）	歙県経済開発区投資開発有限公司 理事長
	侯瑋瑋（こうくんくん）★	歙州農文旅集団弁公室 副主任（通訳）
	随行 何軍（かぐん）	日本安徽聯誼会 会長（通訳）

第91回日中友好の集い(10/15)へ参加

この集いは土佐清水市にあるNPOアジア文化交流会（立田大城代表）が毎年開催しているもので、今回参加したのは、8月に立田代表から二胡演奏者を紹介してほしいとの依頼があり、岡林会長が趙景明先生と一緒に参加したものです。

集会は午後1時半から始まり、いなん・シミズダンススタジオのよさこい踊り、趙先生の二胡演奏、黄星原（日中友好会館中国代表理事）さんの挨拶などがあり、約50名の参加者がイベントを楽しんでいました。

今回当協会として初めて参加しましたが、幡多地区の理事もアジア文化交流会の事を知らなかったもので、今後連携を深めていきたいと思っています。

なお、16日に黄星原代表理事は濱田省司知事を表敬訪問し、立田代表・岡林会長も同席しました。

～新会員のご紹介～

本年1月に次の方が入会されましたのでお知らせします。それぞれの立場で日中友好にご尽力ください。

<p>井上良助さん（高知市在住） 井上さんはテレビ高知相談役（前社長）で公私ともに中国との交流がある方です。昨年12月末に貴重な文献をいただきました。</p>	<p>合同会社太平洋（宝石・雑貨販売、高知市） 代表者は安徽省聯誼会副会長の何軍さんの友人でこれまで安徽省からの訪問団が来高した時、いろいろお世話になった方で今回正式に会員になっていただきました。</p>	<p>立田大城さん（土佐清水市在住） 立田さんはNPOアジア文化交流会代表で、長年中国との交流を行っている方です。本職は不動産業。</p>
--	---	--